



～「甲斐っ子の宝」～

子どもたちのげた箱の靴が、整理整頓されていることをご存じでしょうか。

甲斐市では、子どもたちの生きる力を育み、社会で通用する力を身に付けることを目的として、数年前より「甲斐っ子の宝」プロジェクトとして取り組んでいます。これは、義務教育9年間を通して、「生活規律」の確立を目指し、特に「整理整頓・清掃活動・あいさつ」の基本的な生活習慣3点に重点を置いた取組として定着しています。この「心をそろえ、心を磨き、心を伝える」取組が、子どもたちの財産となり、自分たちの生活に自信や誇りを持つようになることを願って、数年来、推進されています。

些細なことですが、地道な取組が大きな成果につながっています。「あいさつのススメ」同様、「靴そろえのススメ」をご家庭でも実践してみてもは如何でしょうか。



「北小まつり」開催

子どもたちが待ちに待った「北小まつり」。今年は、with コロナとして、対策を講じた上での開催となりました。これまでとは違い、感染対策が必須条件です。この条件をクリアするために、児童会役員と6年生とで知恵を出し合い、楽しい中にも安全に開催することが求められました。

その甲斐あって、誰もが笑顔で、そして、コロナを意識して参加することができました。移動や仕事分担、途中の手洗い・消毒もスムーズにいき、あつという間の充実した時間となりました。準備から当日の運営までをやり切った6年生に拍手を送るとともに、約束を守りながら参加した全校の子どもたちに🌸を送ります。



～ 読書の効果 ～

道端では、あじさいの花がきれいに咲き誇っています。この時期、梅雨のうっとうしさの反面、赤・青のキレイな花の色合いに心も和みます。



さて、図書委員会による、「あじさい読書」の取組が始まりました。外へ出られないことの多いこの時期、読書に親しむこと、また、室内で落ち着いて過ごすことを目的に取り組んでいます。

子どもたちは、本が大好きです。晴れた日は外で遊ぶことの多い子どもたちですが、天気の悪い時や休み時間のちょっとした時間に、読書をしている姿をよく見かけます。読書の効果は言うまでもなく、「語彙力が増す」「文章力が高まる」「想像力が増す」「世界が広がる」「先人の考えに触れられる」「ストレス解消になる」など、様々な効果が述べられています。忙しい毎日ではありますが、ちょっと時間を見つけ、**心に栄養と休息**を与えてみるのもいいですね。

学校でも、図書委員会を中心に、子どもたちの興味関心を引き出すような工夫をたくさん行っています。その一つが、図書室廊下の掲示です。現在、色とりどりの手作りあじさいが並んでいます。これは、図書委員会の呼びかけで、一人ひとりのオススメ本が書かれた色紙が折り重なっています。クラスごと、カラフルなあじさいに仕上がっています。



～ 夏至（げし）～



梅雨まっただ中、うっとうしい日が続くこの時期ですが、暦の上では「夏至」を迎えました。

「夏至」は、ご存じのとおり、1年のうちで一番昼の時間が長い日です。およそ14時間半の昼の長さがあります。しかし、実は、これは北半球の話であって、南半球ではその逆で、最も夜の時間が長い日となります。同じ地球でも、何とも不思議な話ですね。また、日本の位置する北半球でも緯度によってそれは変わり、同じ日でも、沖縄と北海道ではなんと2時間も昼の長さの違いがあります。この時期、北に行くほど昼は長くなり、北極圏では、いわゆる「白夜（1日中昼の状態）」になります。

一口に「昼の長さ」といっても、夏至と冬至の違い、北と南の違い、緯度による違いと「違い」はたくさんありそうです。夏至を機に、「昼の長さ」を感じてみるのもいいですね。



コロナ禍の中、学校行事など制約が多く、子どもたちの学校生活の様子をご覧いただくことも途絶えがちです。学校ホームページをできる限り更新していますので、ご覧いただければ幸いです。

「竜王北小学校」で検索してみてください。